

オーストラリア金融政策（2019年7月）

2カ月連続の利下げ

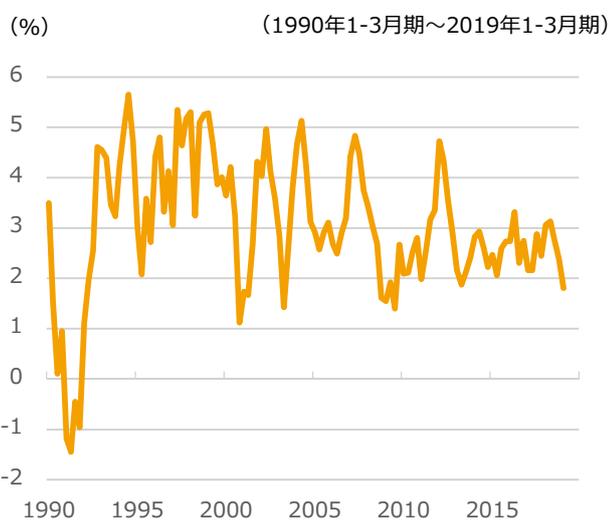
2019年7月2日

世界的に緩和的な金融環境下、必要なら追加利下げも

2019年7月2日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は政策金利を1.25%から1.00%に引き下げることを決定しました。6月に続いた利下げです。市場では利下げがほぼ織り込まれていたため、さほどサプライズはなく、利下げ決定直後の豪ドル、豪州債の値動きは限られています。

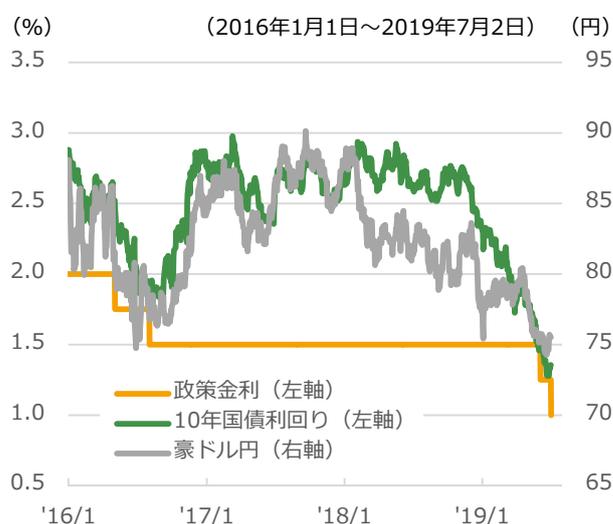
6月に利下げを実施した最大の理由は、インフレ目標の達成に必要な労働市場のさらなる改善を後押しするためでした。しかし、その後公表された2019年1-3月期の実質GDP（国内総生産）は前年同期比1.8%と、リーマン・ショック後まもない2009年7-9月期以来となる低い伸びとなりました。今回の声明文では、世界貿易の鈍化がアジア経済の減速をもたらしていることや、世界経済の下振れリスクが低インフレと相まって、主要中銀による金融緩和期待をもたらしていることにも言及しつつ、2カ月連続の利下げに至った経緯を説明しています。必要であれば金融政策を調整するとも述べており、利下げの打ち止め感はありません。RBAの金融政策は引き続き中国経済、米中の通商協議に左右されやすい展開が予想されますが、景気が堅調に推移していた2017年から2018年前半ですら基調インフレ率が目標レンジ下限の2%以下で推移していたことに鑑みれば、低金利が長期化しそうです。ただし、世界的に緩和的な金融政策姿勢が支配的なため、豪ドルの値動きは比較的小幅にとどまると考えられます。

オーストラリアの実質GDP（前年同期比）



(出所) オーストラリア統計局

オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース
 ※10年国債利回りと豪ドル円は7月1日までのデータ

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。